

- ・人が集まって社会を作っていくとなぜ争うようになるか？
個性を持った人同士が集まると意見の食い違いが起こり個人の正義の対立が起きるため。
- ・正義とは何か？
自分達の個性の価値。個性の違いは争いを生む。
- ・中世ヨーロッパの安定の原因は？
ローマ教会が全ヨーロッパを宗教の力で支配していた事と、ヨーロッパ人のほとんどがキリスト教徒であったため。
- ・中世ヨーロッパの安定はなぜ崩壊していったか？
宗教改革、十字軍遠征の失敗などによりローマ教会の威信がゆらいだから。
- ・ホッブズの著書の名前は？
リヴァイアサン（聖書の中の怪物という意味。）
- ・ホッブズは何もしなければ社会はどのような状態になると言ったか？
万人の万人に対する戦い。
- ・なぜ、上記のような状態になるのか？
個人個人が自分の自然権を主張していくと必ず正義と正義の争いが起きるから。
- ・ホッブズは社会を秩序ある状態にするには何が必要と考えたか？
「争いをやめなければ死にますよ」というように死の恐怖をちらつかせる圧倒的な権力。
- ・圧倒的な権力を誰に求めたか？
絶対君主、国王。
- ・絶対君主は自分の権力を何という説で正当化したか。その弱点は。
王権神授説。教会の権威に頼りきっているため宗教改革、十字軍の失敗などにより弱体化した。
- ・ホッブズは絶対君主の権力をどのように正当化したか。それを何説というか。
社会契約説。人々は自分の身を自分で守る自己救済の権利を持っているが自分の身を守るには限界があるので、その権利を絶対君主に委ねるかわりに絶対君主は国民を守り、国民は絶対君主に従う。絶対君主は国民から自己救済の権利を託されているので権力を持っていると主張した。
- ・ロックの著書の名前は？
統治二論。
- ・ロックは国王を殺すあるいは追い出すことをどう正当化したか？
国王が市民の財産、身体、生命を侵害するようなことがあれば社会契約違反として抵抗権を行使し追い出し、それでも侵害すれば革命権を行使し殺害できると主張した。
- ・国王がいなくなった後誰が権力の担い手となるのか？ロック。
市民の中から代表者を選出してそれを権力の担い手とした。
- ・国家の三要素は？
領域、主権、国民。
- ・ヨーロッパにおける国境の重要性とアジアにおける国境の重要性を答えよ。
ヨーロッパ、EUに住む人達は自由に国境を超え住んだり働いたりできるが、アジア、北朝鮮と韓国の国境では非常に厳しいものになっており、国境を超えることは命がけとなっている。

- ・ アメリカ合衆国は何年に成立し、何があったのか？
1776年の独立宣言。
- ・ 日本国という国家はいつ成立し、何があったのか？
1871年の廃藩置県。
- ・ フランスは何年に成立し、何があったのか？
1789年のフランス革命。
- ・ 西洋における代表的な市民革命を4つ答えよ。
清教徒革命、ピューリタン革命、名誉革命、フランス革命。
- ・ 市民革命の「市民」と津山市民の「市民」の違いは？
市民革命の「市民」とは一定の年齢以上の男性で教養があり、勇気を持ち自分の意見を持っていて行動力のあるブルジョワジーと呼ばれる人達であり、津山市民の「市民」は津山市に住んでいる人のことを指す。
- ・ 市民革命の「市民」を別名で答えなさい・
ブルジョワジー、ジェントルマン。
- ・ 市民革命後の選挙が暫くの間制限選挙であった理由は？
市民革命を起こした市民は圧倒的な権力に命がけで勇敢に自分の意見を持って立ち向かい勝利を手にしたので、命をかけて革命に参加していない者は自分の意見を持てないので、市民だけの制限選挙であった。
- ・ 大衆とはどのようなものか。
自分の意見を持たず人の流れる方向へ従って流れそれについて責任もとらないような人達のことである。
- ・ 多数決においてなぜ大衆は危険視されるか。
ナチスのファシズムのように、大衆をひきつけ民主的に多数決で勝てば独裁政治に持ち込むことができるから。
- ・ 政治がその役割を果たすためには場合によっては（強制力）を用いてでも政策を実行する（政治権力）の担い手を必要とする。つまり政治には人間が人間を（支配）する権力関係が付きまといざるをえない。
- ・ 王は神から直接に絶対的な支配権を与えられているという王権神授説。
- ・ リバイアサンのとびら絵：イギリスのホッブズは国家を旧約聖書に出てくる怪物リバイアサンになぞらえた。
- ・ ファシズムは大衆の動員を背景に国民の権力や自由を否定する政治体制を暴力的に実現した独裁政治であった。